

第2回

「2050年のオホーツクを考える」オンラインミーティング ～新たな北海道総合開発計画策定に向けて～

2050年を見据えた国の新たな北海道総合開発計画の策定に向け、オホーツク地域の様々な分野で活躍するパネリストが、オンラインミーティングを行います。

～テーマ～

「中間整理(案)に対する意見、感想」、「計画の目標を実現し、地域が豊かさを実感するために進むべき方向性や推進すべき取組等について」

令和5年（2023年）2月27日（月）14:00～16:00（予定）
Web上にて開催（視聴は事前申込が必要です）

国土交通省国土審議会 北海道開発分科計画部会にてとりまとめた、新たな北海道総合開発計画策定に向けた中間整理（案）の発表をふまえ、上記テーマについて幅広くご意見を伺います。

パネリスト

（50音順・敬称略）



【国立大学法人北見工業大学】
教授 内島 典子



【観光と自転車と】
代表 河本 真由子



【株式会社 道東テレビ】
代表 立川 彰



【一般社団法人ドット道東】
代表理事 中西 拓郎

コーディネーター

【北海道開発局 網走開発建設部】部長 草薙 忍

※新たな北海道総合開発計画策定に向けた「中間整理（案）」については、国土交通省HPの「国土審議会北海道開発分科会」の「第7回計画部会」に、資料を掲載しています。（国交省HP）

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s103_hokkaido_keikaku01.html



パネリストプロフィール

国立大学法人北見工業大学 教授 内島 典子

北見市出身、博士（工学）。2003年から産学官連携コーディネータとして活動、2021年4月から現職。産学官連携、技術アウトリーチ※を専門とし、北見工業大学のプレゼンス向上に向けた活動を推進している。オホーツク地域が有する自然環境を活かし、様々な地域振興の活動に取り組むことの価値は非常に大きいと感じている。
※学外との双方向的なコミュニケーション活動

観光と自転車と 代表 河本 真由子

美幌町出身。ツアーコンダクターやアパレルの業界を経てUターン後、美幌町初の地域おこし協力隊に就任。2021年4月に起業し、ひがし北海道をフィールドにしたサイクルツアーコーディネーター、美幌町の木材を使用した特産品の開発、美幌町のPRを兼ねたウォーキングイベント「びほろロゲイニング」、ファットバイクとクロスカントリースキーを掛け合わせたイベント「スノーデュアスロン北海道」の企画運営等を行っています。

株式会社 道東テレビ 代表 立川 彰

静岡県出身。日本テレビ「1億人の大質問!?笑ってコラえて!」の番組制作の後、千葉県船橋市で（株）キロックムービーを創業。2016年から地域おこし協力隊として津別町で活動。「あなた輝くまちテレビ 道東テレビ」を立ち上げ、2019年法人化。コワーキングスペースJIMBAと北海道つべつまちづくり株式会社の取締役。

一般社団法人ドット道東 代表理事 中西 拓郎

北見市出身。一般社団法人ドット道東・代表理事。地元・北見市にUターン後、ローカルメディア運営他、編集・プロデュース・イベント企画に『道東誘致大作戦』など。幅広く道東を繋ぐ仕事を手がける。2019年5月一般社団法人ドット道東を設立、現職。

北海道総合開発計画とは

我が国では、北海道の豊富な資源や広大な国土を利用してその時々々の国の課題の解決に寄与することを目的に、北海道開発法に基づく「北海道総合開発計画」を策定することにより、計画的に北海道開発を進めています。現在は第8期計画を推進しているところです。

策定から7年目を迎えましたが、この間に気候変動と自然災害の激甚化・頻発化、人口減少・少子高齢化の加速など、我が国と北海道をとりまく情勢は、急速かつ大きく変化しています。

このような状況に対して、臨機応変に、かつ時機を逸することなく対応していく必要があることから、2050年の長期を見据えながら、新たな北海道総合開発計画の策定に向けた検討を始めることになりました。

視聴の申し込みについて

令和5年2月24日(金)15時締切

- ・所定の事項をご記入の上、【宛先】へメール又はFAXでお申し込みください。
- ・会議当日までに記載のメールアドレスへ招待用URLを送付します。
- ・Web会議参加時の表示名は、所属団体名(個人で参加の場合は個人名)としてください。
- ・視聴中は、カメラをオフとし、音声はミュートとしてください。
- ・Web会議中は発言できません。質問がある場合は当部または各団体にお問い合わせください。

【宛先】北海道開発局 網走開発建設部 地域振興対策室

FAX:0152-44-6232 メール:hkd-ab-chiiki@gxb.mlit.go.jp ※

※メールの場合、下記1～4を必ずメール本文に直接記入して送信してください。

(記入欄)

1. 所属団体名 :
(個人視聴の場合不要)
2. 視聴者(代表者)氏名 :
3. 連絡用メールアドレス:
4. 連絡用携帯電話番号 :